

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第 315 回 1 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グランデール溝口の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 井上 陽

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第 315 回 第 1 部

2026 年 9 月 14 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

【議題】

一般社団法人美白桃会 BB CLINIC GINZA

- 定期報告 ①「アトピー性皮膚炎患者の主症状に対する自己脂肪由来間葉系幹細胞による治療」
- ②「しわ・たるみなど皮膚の加齢性変化に対する自己脂肪由来間葉系幹細胞による治療」
- ③「多血小板血漿（Platelet-rich plasma:PRP）を用いたしわ・たるみなどの皮膚の加齢性変化に対する治療」
- （申請者：管理者 ビョン・ヒョンソプ）

【日時場所】

日 時：2026 年 9 月 3 日（木曜日）第 1 部 18：30～19：00

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

- ①「アトピー性皮膚炎患者の主症状に対する自己脂肪由来間葉系幹細胞による治療」
- ②「しわ・たるみなど皮膚の加齢性変化に対する自己脂肪由来間葉系幹細胞による治療」

第1 審議対象及び審議出席者

1 出席者

出席者：委員については後記参照

陪席者：（事務局）坂口 千恵 木下 祐子

2 技術専門員 辻 晋作 先生（委員）

3 配付資料

資料受領日時 2026 年 8 月 28 日

（本審査資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム（定期報告①）
- ・年間 教育・研修記録文書

（事前配布資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
 - ・定期報告フォーム（定期報告①）
 - ・年間 教育・研修記録文書
- （会議資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム（定期報告①）
- ・年間 教育・研修記録文書

第2 審議進行の確認

1 特定認定再生医療等委員会（1，2種）の出席者による成立要件充足

以下の1～8の構成要件における2,4,5or6,8が各1名以上出席し、計5名以上であることが成立要件	氏名	性別（各2名以上）	申請者と利害関係無が過半数	設置者と利害関係無が2名以上
1 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家				
2 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	辻 晋作	男	無	無
3 臨床医	高橋 春男	男	無	無
4 細胞培養加工に関する識見を有する者	小笠原 徹	男	無	無
5 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	井上 陽	男	無	有
6 生命倫理に関する識見を有する者				
7 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者	山下 晶子	女	無	無
8 第1号から前号以外の一般の立場の者	中村 弥生	女	無	無

*小笠原委員は、Zoomにて参加

事務局の木下祐子が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、「本再生医療等提供計画に関する役務の提供の関係による除外条件」も含めて、すべての条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

1 質疑

計画の科学的妥当性の評価方法の適切性及び当該評価の結果について検討を行ったほか、つぎのような質疑応答があった。

定期報告①について

井上	1例1件です。
井上	辻先生、何かご意見はありますか
辻	大丈夫です
井上	症状が軽減されたようで、よかったと思います。
	教育・研修は、院内の勉強会と免疫細胞療法実施研究会の研修を受けたとい

うことですが、免疫細胞療法実施研究会の研修内容も書いていただいた方が
いいと思います

定期報告②について

井上 | 0 例 0 件ですので、定期報告としては適切とさせていただきます

2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

第4 審議結果

定期報告①、②は適切である。

③「多血小板血漿 (Platelet-rich plasma:PRP) を用いたしわ・たるみなどの皮膚の加齢性変化に対する治療」

第1 審議対象及び審議出席者

1 出席者

出席者：委員については後記参照

陪席者：(事務局) 坂口 千恵 木下 祐子

2 技術専門員 辻 晋作 先生 (委員)

3 配付資料

資料受領日時 2026 年 8 月 28 日

(本審査資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書 (様式第三)
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

(事前配布資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書 (様式第三)
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

(会議資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書 (様式第三)
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

第2 審議進行の確認

1 認定再生医療等委員会（3種）の出席者による成立要件充足

以下の1～4が各1名以上出席し、計5名以上であることが成立要件 ただし1に掲げる者が医師又は歯科医師である場合にあっては、2を兼ねることができる。	氏名	性別（各1名以上）	申請者と利害関係無が過半数	設置者と利害関係無が2名以上
1. a-1. 医学・医療1	高橋 春男 小笠原 徹 山下 晶子	男 男 女	無 無 無	無 無 無
2. a-2. 医学・医療2	辻 晋作	男	無	無
3. b. 法律・生命倫理	井上 陽	男	無	有
4. c. 一般	中村 弥生	女	無	無

*小笠原委員は、Zoomにて参加

事務局の木下祐子が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、「本再生医療等提供計画に関する役務の提供の関係による除外条件」も含めて、すべての条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

1 質疑

計画の科学的妥当性の評価方法の適切性及び当該評価の結果について検討を行ったほか、つぎのような質疑応答があった。

定期報告③について

井上	13例13件です。 自己申告について確認します。安全性については、特段健康被害は発生していない。妥当性については、“評価対象となる13症例を検討した結果、全体の76%で改善傾向、24%が変化無し(安定)、0%が悪化という結果となった。VISIAでのスコア評価にて76%以上に改善傾向が見られたことにより、本治療について科学的妥当性があると判断される。”ということです。 統計学的に有意と言えますか
山下	VISIAのスコアのみピックアップしても、有意ではありません。これだけ症例数があるのに、変化がないです
辻	治療日と判定日が逆になっているところがたくさんあるので、修正して出してください
高橋	初診日が1年も前で、突然1年後に治療して、その後、過去に遡ったりしていて、判定日などの日付がめちゃめちゃです。
山下	しかも、経過観察の間隔が一定ではないので、判定ができません 提供計画では、1か月後、3か月後、6か月後に経過観察を行うことになっ

井上

ていますが、2か月後に行っているものもありますので、提供計画に沿って行うようにしてください。シビアな検査になってしまうので、そうすると有意な結果になりません
提供計画どおりの判定をお願いします。

2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

ただし、初診日、治療日、判定日の記載に齟齬があり、効果判定の評価方法が提供計画に沿っていないため、訂正し再提出することを要請するものとする。

第4 審議結果

定期報告③は適切である。

以上

第5 審査後修正資料の確認

9月14日：施設より修正資料を提出

同日：事務局にて日付が正しく修正されたことを確認